

師走の益城路を駆け抜ける

第2回益城町ロードレース大会開催

12月26日、町総合運動公園陸上競技場をスタート・ゴールとした第2回益城町ロードレース大会が開催されました。

これは、長距離選手の育成と底辺拡大、青少年の健全育成を目的として町陸上競技協会が開いているものです。

冬空の中、男子4部門（小学生



一斉に競技場をスタートする選手たち

2 km、中学生5 km、高校生10 km、一般10 km）、女子4部門（小学生2 km、中学生3 km、高校生5 km、一般5 km）に町内外から333人のランナーがエントリーし、健脚を競いました。

沿道からは、白い息を吐きながら、ランナーに温かい声援と拍手が送られていました。

主な成績（町内選手のみ・敬称略）

- 中学生男子の部（5 km）
- ③原田秀哉（益城中）16分22秒
- 高校生女子の部（5 km）
- ⑥木下春菜（熊本中央3年）18分59秒⑦坂本玲（第一1年）19分01秒
- 高校生男子の部（10 km）
- ①高木聖也（九州学院2年）31分03秒



寒さに負けられない力強い走りを見せてくれました

目指せ!! 将来のプロ野球選手

益城町少年野球教室を開催

「益城町からプロ野球選手を！」を合言葉に12月27日、益城町少年野球教室が町民グラウンドで開催されました。

町内の少年野球の技術向上と、プロ野球選手との親ぼくと交流を図る目的で、福岡ソフトバンクホークスの協力を得ながら、町教育委員会と町野球連盟（森上祐一会長）の共催で毎年行われているもので、今回で7回目を迎えます。この日は、町内6つの小中学校から選手165人、指導者17人が集まりました。

また、ホークスから神内靖選手（投手）、本多雄一選手（内野手）、立岡宗一郎選手（内野手）、吉本亮



打撃を指導する立岡宗一郎選手（左）と神内靖選手

選手（内野手、現ヤクルトスワローズ）とコーチ、スコアラースタッフなど8人が講師として招かれました。

子どもたちは、キャッチボールで体を温めた後、投手・捕手、内野手に分かれ、投手はボールの握り方や腕の振り方、打球動作を一人ひとりチェックしてもらいました。捕手は、ミットの構え方、セカンドへの送球動作などを学びました。

最後は全員がバッティング指導として、グリップを握る位置やフォームなどの細かい指導を受け、とても和やかな野球教室となりました。